

# 目次

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 【第1部】 南部地区について .....            | 1  |
| 1 あいさつ .....                    | 1  |
| 2 ひとまもり・まちまもり協議会とは.....         | 2  |
| 3 南部地区の概要 .....                 | 3  |
| 4 南部地区の人口 .....                 | 4  |
| 5 協議会の体制 .....                  | 5  |
| 6 今までの活動 .....                  | 5  |
| 【第2部】 地域ビジョン策定について .....        | 6  |
| 1 地域ビジョンについて .....              | 6  |
| 2 地域の現状について.....                | 6  |
| 3 南部ひとまもり・まちまもり協議会の今後の活動目標..... | 8  |
| 4 南部ひとまもり・まちまもり協議会の地域ビジョン ..... | 10 |
| 【第3部】 課題解決ワークショップの開催について .....  | 11 |
| 1 課題解決ワークショップの開催 .....          | 11 |
| 2 【第1回】 地域の課題について考える.....       | 12 |
| 3 【第2回】 地域で求められていることを考える .....  | 14 |
| 4 【第3回】 地域で実施するアイデアを考える .....   | 16 |
| 5 地域ビジョン策定ワークショップ参加者名簿 .....    | 19 |



# 【第1部】 南部地区について

---

南部ひとまもり・まちまもり協議会が  
地域の明るい未来の実現にむけて活動していくために  
「地域ビジョン」を策定しました。

## 1 あいさつ

南部地区は、別府温泉発祥の地といわれる浜脇温泉やにぎわいをみせてきた商店街など歴史と伝統のある地域です。また、山間地に広がる美しい棚田や地区の中心を流れる朝見川など豊かな自然環境にも恵まれています。

本協議会は、令和元年6月に発足し、南・浜脇地区の自治会27町と22の構成団体が連携し、防災対策や共同温泉の維持管理など様々な地域課題の解決に取り組んでまいりました。

令和6年4月に別府市は市制施行100周年を迎え、また、協議会も活動を開始して丸5年が経過しました。この機会に、これまでの活動を振り返るとともに、改めて南部地域の魅力や課題について考え、次の世代につなぐより良い地域づくりに向けた新たな一歩を踏み出そうと、この度、「南部ひとまもり・まちまもり協議会地域ビジョン」を策定いたしました。

このビジョンをきっかけとして新たな取り組みにも挑戦し、地域の皆さまと一緒に「住んでよかったといえるまち」、「これからも住み続けたいまち」を目指していきたいと考えています。子どもたちが健やかに成長し、高齢者の方々が安心して暮らせる環境を整えながら、皆さまとともに歩んでまいります。

今後とも協議会の活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後に、ご協力いただいたすべての皆さまに心より感謝申し上げます。

南部ひとまもり・まちまもり協議会  
会長 清家 政人

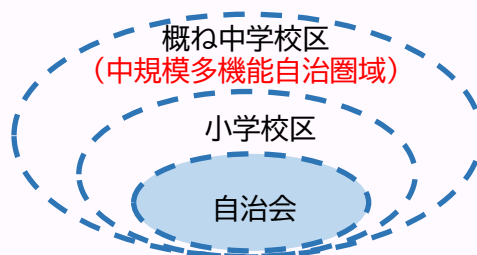
## 2 ひとまもり・まちまもり協議会とは

### ～地域がつながるまちづくり 市内7つの新たなコミュニティ～

#### 【持続可能な地域コミュニティに向けて】

別府市では将来に向けて、従来の小学校区の自治の範囲を概ね中学校区の圏域に広げて自治運営の基盤を拡大することにより、様々な機能をもつ中規模多機能自治を推進しています。

現在、7つの圏域の地域運営組織として、多様な主体が連携する「ひとまもり・まちまもり協議会」が新たな地域コミュニティを形成し、地域の特性をいかながら課題解決に取り組んでいます。



別府市 HP より

#### 【ひとまもり・まちまもり協議会とは】

ひとまもり・まちまもり協議会は、多様な人や団体が連携して、住民が力を合わせて主体的に地域づくりを行う新たな地域コミュニティです。地域住民が中心となって、地域の特性をいかながら連帯感を高め、将来を見据えた地域づくりを行っています。

自治会を含めた多様な主体や幅広い人材が連携・協力することにより、様々な課題に対して、ネットワークをいかした自主的・効果的な取組が期待できます。

別府市 HP より

#### ■ ひとまもり・まちまもり協議会一覧

概ね中学校区の圏域で7つのひとまもり・まちまもり協議会が活動しています。



山の手



中部



南部



朝日大平山



北部



鶴見・南立石・東山

### 鶴見台

鶴見台

別府市 HP より

### 3 南部地区の概要

南部地区は、住宅街と商店街が広がる市街地と美しい棚田などの農地が広がる山間の地域で構成され、市街地の中心を朝見川が流れ、水と緑豊かな自然環境を有する地域です。

別府温泉の発祥の地といわれる浜脇温泉をはじめ多くの共同温泉が点在し、温泉文化が生活の中に根付いています。また、浜脇薬師祭りなどの伝統行事も受け継がれ、長い歴史のある「見立て細工」が祭りに花を添えています。現在は、楠銀天街のアーケード撤去や都市計画道路の整備など、新たなまちづくりが進んでいます。

地区の人口は約 7,100 人、世帯数は約 4,200 世帯、高齢化率は約 45%であり、7圏域(協議会)で、人口は最も少なく、高齢化率は最も高くなっています。(※人口・世帯数・高齢化率は令和6年7月末現在の数値)

〔別府市内図〕

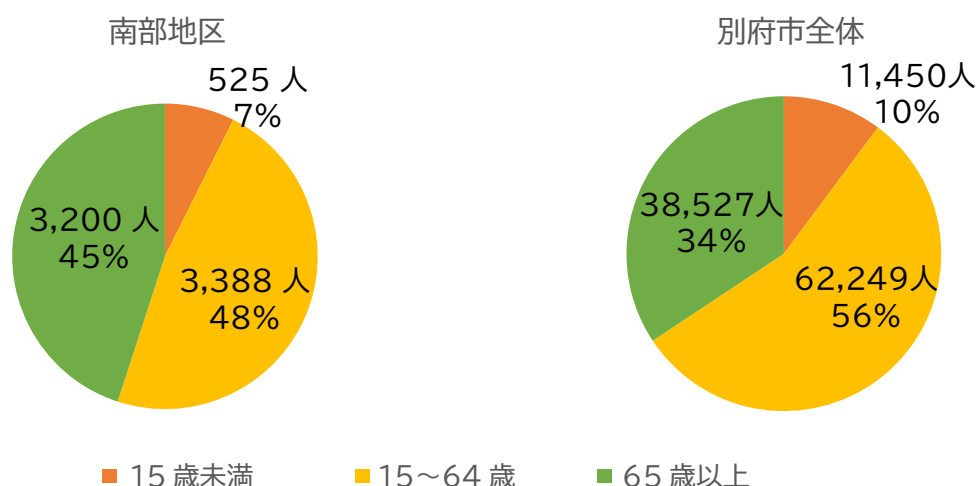


#### 【南部ひとまもり・まちまもり協議会の基本情報】

|      |                                                                                                                                                     |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 設立   | 令和元年6月1日                                                                                                                                            |
| 事務所  | 別府市立田町7番22号 おひさまパーク内                                                                                                                                |
| 構成団体 | 自治会(南・浜脇27自治会)、民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、青少年育成協議会、南地区婦人会、浜脇野菊の会、浜脇母親クラブ、体育協会、小学校、中学校、南小学校PTA、地区公民館、地域包括支援センター、おひさまパーク、消防団、はまRUN会、温泉団体、南部交番、BEPPU PROJECT |
| 該当地区 | 楠町、秋葉町、末広町、千代町、浜町、松原町、南町、立田町、朝見一丁目2区、浜脇一丁目、浜脇二丁目、浜脇三丁目、両郡橋、山家、赤松、浦田、田の口、河内、鳥越、柳、古賀原、内成                                                              |

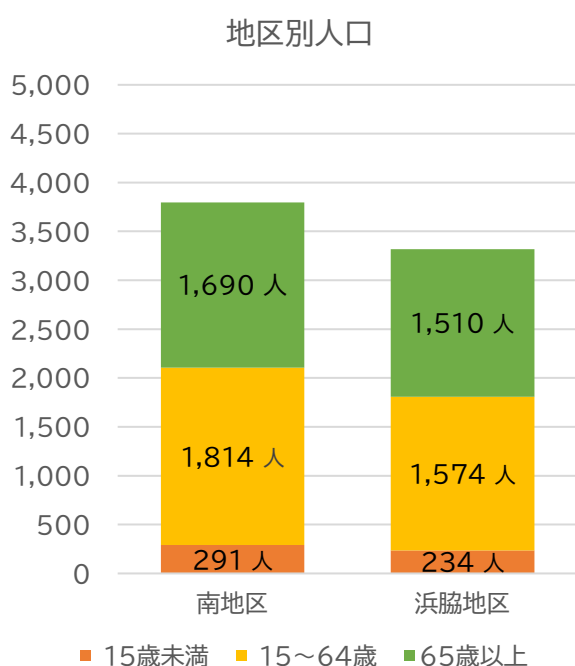
## 4 南部地区の人口

### ■ 南部地区と別府市全体の人口構成(令和6年7月末現在)



南部地区の人口構成は、65歳以上の高齢人口割合が45%となっており、これは別府市全体(34%)と比較しても、非常に高いことが分かります。一方で、15歳未満の人口は、別府市全体の10%に対して7%と低く、若年層が少ない状況です。さらに、15～64歳(生産年齢人口)の割合も別府市全体の56%に対し48%といずれにしても低く、若年層及び働き盛り世代の少なさが伺えます。

### ■ 地区別の人口(令和6年7月末現在)

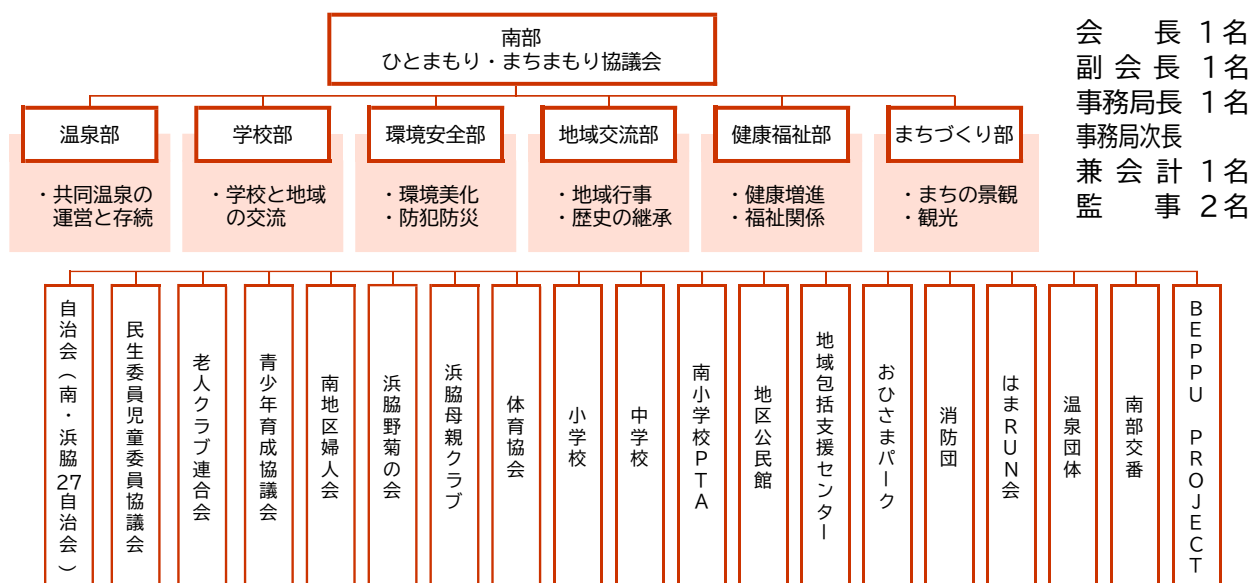


地区内の人口は約7,100人で、地区別にみると、南地区が約3,800人、浜脇地区が約3,300人となっています。人口は南地区がやや多くなっていますが両地区とも同規模の人口と言えます。

人口構成では、65歳以上の高齢人口割合は南地区が約45%、浜脇地区が約46%と、浜脇地区の方がやや高齢化が進んでおり、両地区ともに大きな割合を占めています。生産年齢人口の割合は両地区ともにほぼ同割合で、子どもの割合が低くなっています。

## 5 協議会の体制

### 【組織図】



## 6 今までの活動

### 【共同温泉維持管理】

共同温泉の管理運営など共通する課題の解決に向けた取り組みを実施しています。

- ・共通の立て看板の設置(10ヶ所)
- ・レジオネラ菌検査の一斉実施
- ・高圧洗浄機・警報機等の備品整備



### 【楠銀天街のまちづくり】

楠銀天街のアーケード撤去後の新たなまちづくりに向けた取り組みを実施しています。

- ・「車両進入禁止」看板の設置
- ・「Thanks Giving 楠銀天街感謝祭!!」の開催
- ・先進地視察研修



### 【防犯・防災】

地域の安心・安全のための取り組みを実施しています。

- ・南海トラフ地震を想定した避難訓練
- ・防災倉庫・テント・消火器等の整備
- ・子どもの見守り活動



### 【その他の活動】

- ・朝見川清掃活動
- ・ヨガ教室
- ・元気アップ体操教室
- ・掲示板整備
- ・広報チラシ発行



## 【第2部】 地域ビジョン策定について

---

### 1 地域ビジョンについて

地域ビジョンとは、ひとまもり・まちまもり協議会がこれからの地域をより良いものにしていくためにはどのように活動すればよいかを示す指針です。将来を見据えたまちづくり活動を行うための体制づくりのきっかけとなるものであり、住民と自治体等が対等なパートナーとして、ともに理想の地域を築くための道しるべです。

### 2 地域の現状について

地域ビジョン策定にあたり、住民の声を反映するためにワークショップを実施し、南部ひとまもり・まちまもり協議会の現状と課題、目指すべき姿について整理しました。

#### ① 新たな人材を発掘する

本協議会では、南地区と浜脇地区の住民が協力し、行政と連携しながら地域づくりを進めてきました。さまざまな取り組みを通じて地域の一体感が育まれ、課題の解決に取り組んでいます。

今後さらにこの地域を発展させていくためには、協議会活動に多くの住民が参加することが重要となります。活動に興味を持ち、参加意欲のある新たな人材を発掘するため、地域活動への参加のきっかけづくりを積極的に行い、新たな視点を取り入れることができる柔軟な組織づくりを行っていきます。

## ② 幅広い世代がつながる取り組みを実施する

地域では、子ども会活動の減少や子育て世代の地域活動への参加が少なく、交流の機会が減少しています。

今後は、PTAや学校と連携し、若い世代と協力して活動できる仕組みをつくり、子どもたちが自発的に地域活動に参加できる環境を整えていきます。子どもたちや若い世代に活動の楽しさや意義を感じてもらい、世代を超えたつながりを深めていきます。

また、これまで活動を担ってきた世代の高齢化にともない今後の活動の持続性に課題があり、次世代の担い手の育成も求められています。幅広い世代がともに活動に参加する中で、世代間の橋渡しを進め、役割をスムーズに引き継いでいきます。

## ③ 情報発信の方法や対象を見直す

本協議会の活動を広めるために、掲示板や広報チラシなどを活用することにより、地域住民に情報を届けてきました。一方で、多様な生活スタイルへと変化する中で、情報が十分に届けられていない状況があり、情報発信手段を工夫する必要があります。

また、協議会の活動をより効果的に伝えることで、活動への参加を促し、より多くの住民の声を集める機会を増やしていくことにつながります。そのため、地域の魅力を多くの方に知っていただくための取り組みを進め、デジタルの活用も視野に入れながら、相互のコミュニケーションを促進していきます。

## ④ 地域の長所を最大限にいかす

南部地区は、「楠銀天街」や「浜脇温泉」などがあり、歴史と伝統のある地域です。現在は、楠銀天街のアーケードが撤去され、新たなまちづくりに向けた取り組みを行っています。

まちづくりを進めるうえでの課題として、駐車場の増加による交通の安全性に対する不安、空き地や空き家の増加などが挙げられ、関係者の理解と協力を得ることが必要不可欠です。地区全体で人の流れを考慮した包括的な視点が求められており、住民が安心して過ごせる環境づくりとともに、気軽に集える場所の確保や、環境美化にも力を入れ、来訪者にも居心地が良いと感じてもらえるまちづくりを目指します。

### 3 南部ひとまもり・まちまもり協議会の今後の活動目標

地域の現状や課題の確認から整理したキーワードより、南部ひとまもり・まちまもり協議会が活動するうえで活動目標と活動方針を整理しました。

#### ● 活動目標①

| 自らの手でまちづくりができる組織づくり                                                                                                                                                        |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 求められていること                                                                                                                                                                  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 活動に参加しやすいよう間口を広くする</li><li>・ さまざまな人(業種や世代)の情報交換の場となる組織にする</li><li>・ 参加することで自らまちづくりができる組織にする</li><li>・ 企業、協力団体、個人の連携を強化する</li></ul> |
| 活動方針                                                                                                                                                                       |
| 多様な業種や世代の人が気軽に参加できる組織にします。                                                                                                                                                 |

#### ● 活動目標②

| 子どもから高齢者まで世代を超えて活躍できる地域づくり                                                                                                                                         |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 求められていること                                                                                                                                                          |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 子どもと大人の交流の機会をつくる</li><li>・ 若者が中心的役割で活躍できる場をつくる</li><li>・ 子どもや若者が地域になじみを持ってくれるような取り組みを実施する</li><li>・ 外に出かける機会をつくる</li></ul> |
| 活動方針                                                                                                                                                               |
| 子どもから高齢者まで、ともに地域づくりに参画し、世代間ギャップを解消します。                                                                                                                             |

### ● 活動目標③

#### より効果的な情報発信

##### 求められていること

- ・ 多様な情報発信手段の検討を行う
- ・ 届けたい人に届く新たな方法を検討する
- ・ 協議会への参加のきっかけとなる情報発信を行う
- ・ 住民の声を集め、知りたい情報を発信する

##### 活動方針

デジタルの活用など、新たな情報発信方法を検討します。多くの住民の意見を取り入れるためにも、情報発信を通して幅広い世代の参加を促していきます。

### ● 活動目標④

#### 住民にも来訪者にも魅力的なまちづくり

##### 求められていること

- ・ 時代の変化に合わせた取り組みの見直しを行う
- ・ 昔ながらの風景を大切にした取り組みをする
- ・ 温泉や商店街を綺麗にしてまちづくりに役立てる
- ・ 空き地や空き家を有効活用し、活気のあるまちにする

##### 活動方針

昔からあり、これからも残したいものを大切に、まちの魅力を住民にも来訪者にも伝えるための取り組みを実施します。楠銀天街の活性化を行うとともに、地元住民が安心して生活できる環境を整えます。

## 4 南部ひとまもり・まちまもり協議会の地域ビジョン

設定した活動目標や活動指針から、南部ひとまもり・まちまもり協議会としての今後のまちづくりの指針となる「地域ビジョン」を策定しました。

### ■ 地域ビジョン

## 南部地区の歴史と伝統をまもり、 住み続けたいまちへ

### 南部ひとまもり・まちまもり協議会の 目指す地域づくり

本協議会は、まちの将来を考えながら、課題の解決に地域全体で取り組む組織として活動してきました。発足時からさまざまな取り組みを行い、南地区と浜脇地区の連帯感が生まれ、南部地区として将来を考える体制が整ってきました。一方で、にぎわいのあった楠銀天街のアーケード撤去など、協議会の活動も時代に合わせた変化を加えながら、より一層力を入れていく必要があります。

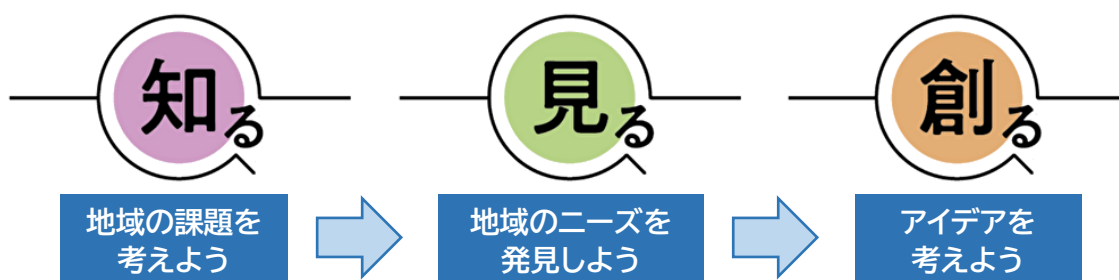
地域を未来につないでいくためには、協議会の活動に参加する若い世代を増やし、将来的にその中心を担う人材を育成することが必要です。また、新たに地域に住む人々が、このまちに親しみを持てるような取り組みも重要となってきます。

南部地区ならではの大切な歴史と伝統をまもり、持続する取り組みを続けながら、時代に即した変化も柔軟に受け入れ、子どもから高齢者まで誰もが住み続けたいまちを目指して活動していきます。

## 【第3部】 課題解決ワークショップの開催について

### 1 課題解決ワークショップの開催

地域ビジョン策定にあたり、住民の声を反映するために、「持続可能なまちづくり」をテーマとし、デザイン思考※を用いた「課題解決ワークショップ」を全3回にわたり実施しました。



#### 【第1回】 地域の課題について考える

活発な意見交換の中で、地域に潜在する課題を洗い出し、重要度の高い課題について考えました。

#### 【第2回】 地域で求められていることを考える

第1回で洗い出された課題をもとに、地域の中に潜在する「ニーズ」を探すとともに、それを解決する糸口となる「問い」を設定しました。

#### 【第3回】 地域で実施するアイデアを考える

第2回で設定された「問い」を解決するための具体的なアイデアを考え、「絵(図)」という形でイメージを具体化しました。

ビジョンの検討、とりまとめ

ひとまもり・まちまもり協議会 地域ビジョン策定

※デザイン思考とは

問題を解決するための思考法の一つです。課題を洗い出した後に、重要な問題を特定することで真に解決が求められている本質的な問題はなにかを考えます。この問題に対し、どう解決していくかアイデアを出し合い、実行プランへと具体化します。意見を出し合い、重要なものに絞り込んでいく過程を繰り返すことで、普段可視化されていなかった潜在的な課題や対応が必要な事項を探り出すことができます。

## 2【第1回】地域の課題について考える

活発な意見交換の中で南部地区に潜在する課題を洗い出し、重要度の高い課題が何なのかを考えました。参加メンバーから挙げられた課題を紹介します。

(令和6年9月11日実施)

|       |                                                                                                                                                                |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| キーワード | 若い世代、交流                                                                                                                                                        |
| 実際の意見 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 若い世代が興味を持つような取り組みが必要</li><li>・ 人とのつながりが希薄になっている</li><li>・ 子ども会活動の減少</li><li>・ 高齢者と若い世代や新しい住民との交流がない</li></ul>          |
| キーワード | 組織体制                                                                                                                                                           |
| 実際の意見 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 活動の中心になっている人が限られている</li><li>・ 新たな人材へ役職の移行が難しい</li><li>・ マンション住民の参加が少ない</li></ul>                                       |
| キーワード | 交通                                                                                                                                                             |
| 実際の意見 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 車の乗り入れが多く、危ない</li><li>・ 子どもが通りにくい場所がある</li><li>・ 入り組んだ住宅街が多い</li><li>・ 空き地が駐車場になることが多く、危険箇所が変わった</li></ul>             |
| キーワード | 情報発信                                                                                                                                                           |
| 実際の意見 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 県外や市外への発信の仕方がわからない、発信手段が少ない</li><li>・ イベントPRなど、情報発信方法の改善が必要</li><li>・ おひさまパークでの活動をさらに増やす</li><li>・ 町内の掲示板の活用</li></ul> |

|       |                                                                                                                             |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| キーワード | 行事、イベント                                                                                                                     |
| 実際の意見 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内での行事が少なくなった</li> <li>・ 来てもらえるようなイベントをつくる必要がある</li> <li>・ 祭りを中心として連携する</li> </ul> |

|       |                                                                                                                                                |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| キーワード | 楠銀天街                                                                                                                                           |
| 実際の意見 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土地の所有者と建物の所有者が違う、所有者の理解が得られず土地が有効活用できていない</li> <li>・ 空き家の有効活用方法がわからない</li> <li>・ 足並みがそろわない</li> </ul> |

### 課題からの気づき

- ・ 土地の所有者にまちづくりのメリットをうまく伝えられていないのではないか（楠銀天街など）
- ・ 若い人にイベント運営を任せることで、これまでやってきた人とともにメリットを感じられるような成功体験を得ることが必要



### 3【第2回】地域で求められていることを考える

第1回で洗い出された課題をもとに、地域の中で「求められていること」を探すとともに、それを解決する糸口となる「問い」を設定しました。4つのグループでどんな「問い」にたどり着いたかを紹介します。

(令和6年10月7日実施)

#### ■ 設定された「問い」①

課題解決のための問い

「どうすれば、何か(交流や困りごとの解決)をしたい人/団体/企業のために相談できることを広く伝えることができるだろうか？」

求められて  
いること

- ・何かをしたい人(個人、団体、企業)とつながりたい
- ・若い人が入る余地
- ・各種行事を実施したい(レクリエーション、健康)

#### ■ 設定された「問い」②

課題解決のための問い

「どうすれば、楠銀の活性化から南部(地域)の活性化につなげていけるか。楠銀の活性化を成功体験につなげられるか？」

求められて  
いること

- ・異なる世代、異なる業種が気軽に互いの情報を知り、つながる機会
- ・時代に合わせたテーマ、スローガン、コンセプトの更新
- ・活力ある地域、活力ある暮らし

### ■ 設定された「問い」③

#### 課題解決のための問い

「より多くの住民の意見を知るために、どうすれば住民が意見を言いたくなる(メリットのある)仕組みをつくることができるだろうか？」

求められて  
いること

- ・ 情報が少ない
- ・ もっと地域の事を知りたい
- ・ イベントへの参加者を増やしたい
- ・ 住民にアンケートを行い、住民の本音を知りたい

### ■ 設定された「問い」④

#### 課題解決のための問い

「どうすれば今ある風景をいかして住んでいる人、訪れる人に魅力を感じてもらえることができるだろうか？」

求められて  
いること

- ・ 南部地区の昔ながらの風景が残っているまちで、ゆるやかな暮らしをしたい、訪れたい
- ・ まちづくりに積極的にかかわりたい
- ・ 若い世代の地域への馴染みつながり

## 4【第3回】 地域で実施するアイデアを考える

【第2回】のワークショップにて、南部地区の「本質的な問い」を4つ設定しました。

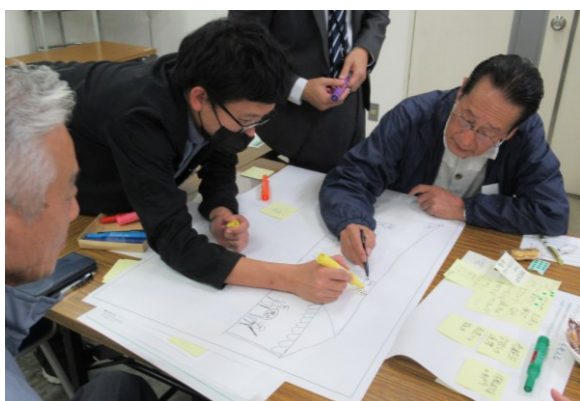
(令和6年11月5日実施)

### 課題解決のための問い

1. どうすれば、何か(交流や困りごとの解決)をしたい人／団体／企業のために相談できることを広く伝えることができるだろうか？
2. どうすれば、楠銀の活性化から南部(地域)の活性化につなげていけるか。楠銀の活性化を成功体験につなげられるか？
3. より多くの住民の意見を知るために、どうすれば住民が意見を言いたくなる(メリットのある)仕組みをつくることができるだろうか？
4. どうすれば今ある風景をいかして住んでいる人、訪れる人に魅力を感じてもらえることができるだろうか？

この問いに対して、ワークショップの参加メンバーで4つのグループに分かれて、実際にどう行動していくかアイデアを出し合いました。

次のページから、内容について紹介します。



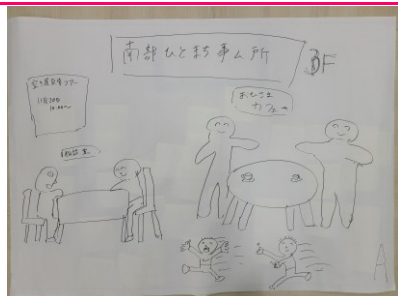
## アイデア A

～困りごとを把握し、サポートできる協議会～

【課題解決のための問い】

協議会の拠点づくり

どうすれば、何か(交流や困りごとの解決)をしたい人／団体／企業のために  
相談できることを広く伝えることができるだろうか？



### 【アイデアの視点】

何かをしたい人は結構いるが、その人とつながる為に、どうしたら  
私たちは行動を変え、解決していくのかを考えた。

### 協議会の拠点づくり

協議会の事務所をつくり、相談できる体制をつくる。交流の場としての役割も設け、コミュニティカフェとして子どもから高齢者まで、気軽に利用できる場とする。この拠点を中心に情報を発信し、人や企業、団体とつながる。

### アンケートからのサポート

何を解決するのか、何に困っているかを明確に把握するために、アンケートの実施や相談会を開き、課題を集約し、協議会としてサポートしていく。

拠点を通して企業や団体のアイデアを募集し、イベントや活動につなげる。空き家見学ツアーなど。

## アイデア B

～イベントや企画を集約～

【課題解決のための問い】

新たな拠点をいかした活動

どうすれば、南銀の活性化から南部(地域)の活性化につなげていけるか。  
南銀の活性化を成功体験につなげられるか？



### 【アイデアの視点】

これまで実施してきたイベントや企画がさまざまあり、それらを  
集約することによって、多世代とのつながりや活性化につなげられ  
ないかを考えた。

### 拠点づくり

拠点をづくり、拠点を中心にイベントや企画を行い、バラバラにならないように集約する。

拠点到集約することで、拠点を中心におせたいや盆踊り、若者のデート、朝市など、さまざまな  
イベントが行われ、賑わいを生むアイデア。

### 多世代、他協議会とのつながり

拠点ではさまざまなイベントが行われるほかに、学生がアイデアを出す場としても活用され、多世  
代とのつながりの場となる。ここでの成功体験を他協議会に伝えていくこともできる。

## アイデア C

【課題解決のための問い】

～住民の意見を聴くためのきっかけづくり～  
ハロウィン仮装行列

より多くの住民の意見を知るために、どうすれば住民が意見を言いたくなる  
(メリットのある)仕組みをつくることができるだろうか？



### 【アイデアの視点】

多くの住民の意見を取り入れるために、単純にアンケートを取るのではなく、意見を聴くためのきっかけづくりができないかを考えた。

### 意見を聴くためのきっかけづくり

住民の意見を取り入れるためには、人が集まる場所をつくるできないかと考えた。イベントや行事を行い、そこに来た人をターゲットに、イベントの感想や、協議会の活動をヒアリングするアイデア。イベントでは、ヒアリングの場所を設け、気軽に意見を言いやすい場を設ける。QRコードでスマホからの回答なども可能。

### ハロウィン仮装行列

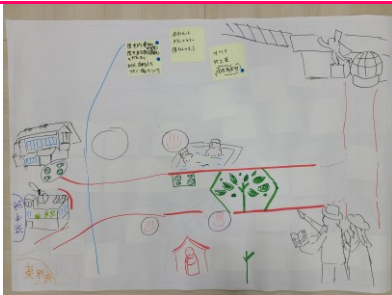
実施するイベントとして、若い人が参加しやすく興味がある、ハロウィン仮装行列を行うアイデア。それぞれが仮装し、まちをあるくことで、周辺住民へのアピールにもつながる。

## アイデア D

【課題解決のための問い】

～人の流れを生み地域の魅力をいかす～  
地域資源をいかした周遊づくり

どうすれば今ある風景をいかして住んでいる人、  
訪れる人に魅力を感じてもらえることができるだろうか？



### 【アイデアの視点】

地域の魅力を感じてもらうために、誰をターゲットにし、どのような手段が良いか、地域の魅力を再確認することでアイデアを考えた。

### 地域の資源をいかした周遊づくり

住んでいる人や訪れる人に魅力を感じてもらうにはどうすれば良いかという問いに、外部から来てもらう場づくりをしてはどうかというアイデア。人の流れを生み、また来てもらうきっかけとして、地域の資源をいかした周遊を意識した場所をつくり、地元住民と訪れる人をつなぐ。

### 人の流れを生む

昔ながらの風景をいかしながら、庭園、温泉、サウナ、昔の養鶏所をいかしたカフェなどが人の流れを生む。景品がついた、「南部スタンプラリー」も工夫の一つ。各地で体験イベントも行われているため、伝統的な竹細工の体験工房なども組み込んでいくアイデア。

## 5 地域ビジョン策定ワークショップ参加者名簿

| 役 職         | 氏 名       | 所 属 等                         |
|-------------|-----------|-------------------------------|
| 会 長         | 清 家 政 人   | 山家自治会長                        |
| 副 会 長       | 吉 田 隆     | 立田町自治会長                       |
| 事 務 局 長     | 木 下 勇     | 千代町自治会長                       |
| 事 務 局 次 長   | 三 重 野 治 久 | 浜脇三丁目自治会長                     |
| 学 校 部 会 長   | 荒 金 茂     | 浦田自治会長                        |
| まちづくり部会長    | 梶 原 貴 子   | BEPPU楠銀通り会代表                  |
| 温 泉 部 会 長   | 勝 正 光     | 未広温泉組合長                       |
| 学 校 部 会     | 丸 井 邦 彦   | 秋葉町自治会長                       |
| 学 校 部 会     | 梶 原 洋 子   | 南地区主任児童委員                     |
| 学 校 部 会     | 姫 野 浩 樹   | 南部地区公民館館長                     |
| 学 校 部 会     | 堀 敏 章     | 松原町1区自治会長・<br>南地区青少年育成協議会事務局長 |
| 学 校 部 会     | 上 村 松 治   | 浜脇地区青少年育成協議会長                 |
| 学 校 部 会     | 中 西 康 太   | 南部地域交流センター・南部児童館館長            |
| まちづくり部会     | 後 藤 千 明   | BEPPU楠銀通り会事務局長                |
| まちづくり部会     | 石 川 千 世 子 | BEPPU楠銀通り会                    |
| まちづくり部会     | 家 入 健 生   | BEPPU PROJECT                 |
| まちづくり部会     | 関 岡 絵 梨 花 | BEPPU PROJECT                 |
| 温 泉 部 会     | 塩 見 泰 美   | はまRUN会代表                      |
| 健 康 福 祉 部 会 | 後 藤 正 己   | 南地区民生委員児童委員協議会長               |
| 健 康 福 祉 部 会 | 押 谷 隆     | 浜脇地区民生委員児童委員協議会長              |
| 健 康 福 祉 部 会 | 松 田 由 美 子 | 浜脇地域包括支援センター管理者               |
| 健 康 福 祉 部 会 | 寺 田 竜     | 浜脇地域包括支援センター                  |

